

お世話になります

工房西ふじ

2020 夏秋号!!

お世話になります。毎度毎度の工房西ふじです。

おや?と気付いた方もおられると思いますが、毎年夏にお届けしている夏号が今年も秋号になってしまいました。言い訳はしません!! しませんがこの夏は仕事も忙しくて...

暑がたし(言い訳してるよ)あつと言つ間に夏も過ぎ、すっかり秋ですね~(食欲の秋だ!!!)

さてさて先日とある商店街の通りで、何やら気になる張り紙をたまたまみつけたので先ずはそれを

皆さんの18才はどんな18才でしたか? それでは工房西ふじ新聞

秋号のお届けです。是非最後までおつきあい下さい。

18才と81才の違い!!

- ・恋に溺れるのが18才、風呂で溺れるのが81才
- ・道路を裸走るのが18才、逆走するのが81才
- ・心がもろいのが18才、毎月がもろいのが81才
- ・恋で胸詰まらせる18才、餅で喉を詰まらせる81才
- ・偏差値が気になる18才、無価値偏差値が気になる81才
- ・まだ何も知らない18才、もう何も覚えない81才
- ・自分探しもしている18才、皆が自分を探している81才

現代の元気な81才は叱られそうなんです

最新現場 News

雨と風との闘い 富士市 U 様邸 壮絶リフォーム



Before



After

日頃より大変お世話になっているU様からいただいた仕事の内容は、なんと入母屋の立派な2階建て和風住宅の2階部分を撤去して平屋にし、残った1階部分を少し増築して2世帯住宅にしたい、といったお話でした。しかも住みながらです。最初は身も疑ってしまい、何とか思い留まるように説得し、他の提案なんかもしましたがU様ご夫婦の意志は固く、その気持ちに答えるかたちで工事を行う事になったのでした。念入りの計画を立て取り掛かったのは昨年11月。U様に不安を与えないように自信ありげに「大丈夫ですお」なんて言っておきながら、内心は不安で夜も眠れませんでした。(ヤ〜寝てはね)...

先ずは、雨もしのぐ仮の屋根をかける足場工事からシートで簡易の屋根をかけたのですが風であおられてシートが破けたり雨漏りはするわでそり、もう大変でした。11月とは言っても、よく雨が降り泣かれました。それでも年内には屋根工事まで終了し、何とか外部工事は目途がたってきました。それから1階の改修工事に取り掛かっていたのでした。そして木の便りを聞く

月の半ばに、無事に完成しました。ここまで簡単に書いてきましたが、大変だった事を書けと言われたら正直この新聞では書ききれない程ありました。それでも最後まで間近でこちらの苦勞した工事をずっと見守ってくださったU様ご夫婦が、大変喜んでくれてとても感謝しました。その瞬間、それまでの苦勞は吹き飛び、喜びに変わったのでした。そして、この工事を機に娘さんのT様ご夫婦とも同居できるようになり、本当に嬉しく思いました。人間やれると思つたことは、出来るものだと思つて感じたこの工事は、一生忘れることはありません。そして工房西ふじにとっても、また

最新現場 News

延べ72坪の住宅新築工事。大きさでは工房西ふじ新記録です

長い時間をかけて計画を練り、今年3月に完成したY様邸の新築工事。大きさは72坪、その広さはなんと!(はんと!!) 東京ドーム(200?)分の1の大きさ!! (何の命がけにこんなもんか東京ドームなわけ???) もう少し、わかりやすく言うと、一般的な住宅の大きさの約2倍(最初の一言、チェーイ) そんなY様邸工事が始まったのは昨年の9月でした。軟弱地盤だったため、地盤の柱状改良(良い地盤まで強度のある円柱状の脚を建てるみたいな改良工事)を経て基礎工事に着手。ここまでは、いっしょには、大きさを感ずるなって程度でした。そしていよいよ建前の日も迎えました。大きさが大きさにだけに棟上げまで3日間の時間を要しました。そんな中、びっぴり立つ72坪の建物は、基礎の時とは比べ物にならないくらいに大きさを感ずる。平面から立体的に変化していくことに大きさを美感したのでした。よく、建物を取り壊した後の土地を見ると、「こんな狭い土地に建てたんだ」と感じる逆のパターンです。建物の大きさに比例して、各部屋は贅沢に広々と設計されており、全てにゆとりを感じさせてくれるスペースです。無垢の天井板や珪藻土の壁もふんげんに使ったリビングからのウッドデッキも、もちろん、アウトドアや休日を楽しむ生活できる贅沢な空間です。他にこの家の最大の特徴は、太陽光発電からの蓄電システムの導入です。南向きと西向き屋根から生まれる安定した発電を蓄電池に見るシステムで、蓄電池は夜の電力使用はもちろんのこと、石がーの停電時でも丸3日間は使える(ほど)の能力があり、しかも200Vも使えるので、エコキュートやIHクッキングヒーターも使える優れたもの。備えあれば憂いなし、災害列島日本でも安心して暮らせる強力なアイテムです。(しかもエコだね) そんなY様邸も3月には無事に完成して、現在は少しずつ家回りの外構エクステリア工事も進めている最中です。Y様本当にありがとうございます。今後とも、末永いお付き合いも、よろしく願いいたします。

他にも、このようなお仕事をさせて頂いていただきました。

淡師(株)O様邸 外壁改修工事

古くなった外壁の塗り替え工事をさせて頂きました。セツの良いたま看板も入り、白をベースにした美しく清潔感のある外観になりました。

貴船町I様邸 浴室改修工事

水漏れや劣化の激しい浴室をシステムバスに改修しました。メーカー独特の特許浴室もカラーのフリーサイズバスで問題解消。水漏れもおさま、快適ですね。

中里東町G様邸 外部改修工事

建物の外壁及び建物回りの改修工事をさせて頂きました。外壁は防水性のある塗膜を使った塗装の塗り替え。外部は古くなったフェンスの取替えや駐車スペースの拡張を行いました。外部は美しく生まれ変わり、車の出し入れもスムーズになり、とても便利になりました。

貴船町W様邸 床改修工事

W様邸の床は梅無垢のフローリング。ウレタンの塗膜が痛み、目地部分から黒いシミ。そんな床をサゲ掛けを行い、安心安全な植物性のワックスにて再生させました。無垢材だからこそできた改修方法です。

羽鮒S様邸 玄関ドア取替え工事

古くて使い勝手の悪かった玄関ドアの取替えを行いました。開き勝手を変えて、より使いやすい。また木目を基調とした美しい玄関ドアになりました。工期はたったの1日、それも奥力です。

紙面の都合上、これ以上ご紹介できませんが、まだまだ沢山の仕事を頂きました。皆様本当にありがとうございました。今後とも

工房西ふじ 0544 25-6263

男小林遊々記 最近のはまりとちょっと刹那のお話。

前号で 残りの人生を楽しく生きる をテーマにしましたが今回も楽しく趣味の旅行の話でも、と思ってはいたのですが世の中がこんな状況で旅行には行けず寂しい思いをしています。でもご安心を。そんな中でも負けない男小林。この状況下でも楽しむ方法を見つけましたよ。泊まりがダメなら日帰りしかない。電車がダメなら車しかない。という事で最近、日帰りドライブにはまっています。近いところでは県内。静岡にはまだまだ行った事のない場所が沢山あります(確かそうだね)少し足を伸ばして愛知、岐阜なんかも行ってきました。岐阜だと妻籠宿とか郡上八幡にも行きました。今まで遠くて日帰りでは無理!みたいな固定観念があったのですが(あ、あ、あ!!) 高速道路もあちこち整備されていて、意外と行けてしまうもんです。午前10時に出発して夜の8時前には大体家に帰ってこれる。目的地はほぼ当日に決めて、混雑している都会は避け、田舎の城下町やら門前町なども狙って行きます。現地には2時間程度しか滞在できませんがそこで美味しいものを食べたり、散歩して、行き帰りは道の駅とか気になったお店などに寄りながら、特産品を買ってきたりして楽しめます。人との接触はほとんど無く3密も完全に回避しながら1日を楽しめます。ただ…(ただ?)往復の車中は奥さんと2人きの時間が続いています(しまいますって何?嫌なの?)でも仲が良いので我慢できます(何?!我慢で…?いや、ふらふらのセルフデイズ!!!) 先日行った日帰りドライブの中のちょっと刹那のお話です。いつものように行き先は当日決めました。かねてから行きたかった新潟の苗場スキー場にある「雪子荘」というホテル。さすがに新潟は無理かな~と思ったのですが今は圏央道も開通してとても早くなったんです。なぜに苗場の雪子荘に?と言いますと、実は男小林がまだ青年小林だった頃、あれはまだ22歳くらいだったと思います。(何だか急に話が真剣モードになってきたね)仕事でつまづいて無職になった青年小林は、家でも周りでも居場所がなくなってしまうと、言うか地元にいるのが嫌になってしまい、逃げるようにして苗場スキー場にあるホテルに住み込みアルバイトの仕事をしていたのでした。その時、大変お世話になったホテルの名前がプチホテル雪子荘。1月から4月までの4ヶ月間で自分が生まれて初めての地元を離れた生活で、見るもの全てが新鮮でした。アルバイト仲間は大学生が多く、そんな奴らと仕事を共にし、夜は酒も飲みかわし、バカな話をしながらの楽しいアルバイト生活で、高校しか出ていない青年小林は、短い期間ながらも、何となく大学生気分を味わうことが出来たのでした。そしてそんな楽しい日々もいよいよ終わりに近づいた時、オーナーの奥さんから、何故か気に入られ、この従業員にならないかと誘われたのでした。(ふ、ん初耳)その時の青年小林は、実に優柔不断な対応で「それもいいですねえ」なんて思わせぶりな返事をしていました。でも美しい自然に魅入られ、オーナーからの熱心な誘いもあって「それもありがた~」って思ったのも事実で、まんざら嘘ではありませんでした。そしてアルバイト期間が終了し帰郷するときに「一度帰って、改めて考えてからお返事します。」と言い残し苗場をあとにしたのでした。でも一度帰ってしまつたら、もう戻ることはできなく、地元で再就職することに。母親から「また雪子荘の奥さんからの電話あったよ。ちゃんと電話しなさい」と何度も言われたのですが、結局自分からは電話もせずいいかげんな対応をしてしまいました。そんなオーナーと奥さんに直接お会いして、お詫言えなくて行き先を苗場にしたのをた(なるほどね、前号

きは異常に長いけど、思い出深いね…。)午後2時過ぎに現地到着。あのすく賑わっていた苗場の通りは畳んでしまったような宿やお店ばかりで、昔の面影は感じられませんでした。そして、目的の雪子荘はというと、昔あったカフェやレストラン、売店が入った建物が無くなっていて、奥に宿泊棟がひとつ残っているだけでした。寂れた通りと同様に、雪子荘も閉めてしまったのか?古い建物だから解体してしまったのか?とよく見る影もない状態で、オーナーご夫妻に会う事もなく帰ることにしました。何か自分の中で会わない方がいいと直感したのです。そして帰りの車の中、雪子荘をネットで検索していた奥さんから衝撃の一言が「雪子荘って2年前に火災で燃えちゃったんだって」…その愕然とした時の男小林の本心は「もっと早く来れば良かった…」でした。もう何年も前から行きたいとは思っていました。その時に行っておけば…。後悔の念が頭から離れませんでした。これからは、行きたいとき、会いたい時に会いに行かなきゃダメだと改めて思い知らされました。会えなければ、せめて手紙でも…。自分が歳をとっていくのと同時に、お世話になった人や恩人も歳をとっていくのですから…。苗場にもまた会いたいと思つた時には勇気を振り絞って必ず会いに行きたいと思つています。

そんなちょっとセンチな男小林遊々記でした。



今回も最後までお読みいただき、ありがとうございます。今年はコロナ、コロナで新聞・テレビ・インターネットでもその話題ばかり。私もうんざりしていますが、皆さんもきっとそうではないでしょうか。なので今回の新聞ではなるべくその話は出さないように考えて書かせていただきました。楽しんでいただくつもりが、男小林のコーナーではちょっとセンチな部分も、昔の自分を出すのは少し恥ずかしかったです。こんな時代になりましたが、色々な出会いや発見もありました。今後どうなっていくのか、わかりませんが工房西ふじとしては、ある仕事に感謝し、前を向いて頑張っていくしかないと考えてます。そうそう報告することがあります。この春から社員として、小林祐介君が入社しました。皆さんの所へご挨拶にお伺いしたかったのですがこの騒ぎの影響で自粛してきました。この先伺える機会があり次第に顔を御見せに行きますのでその時には何か声を掛けていただけると幸いです。現在は何故か我が家の三男坊も加わり、3人で頑張っています。(これもコロナの影響か)そんなこんなで工房西ふじですが、今後も変わらず頑張っていきますので、皆さん応援してくださいね。冬号は遅れないように努力します。(毎回そんな事言っ(は)い!!) それまで皆さん、お元気で。



提案型建築工房
工房西ふじ
 〒418-0056 富士宮市西町10-15
 TEL: 0544-25-6263
 インスタグラム更新中!! 「工房西ふじ」でポチッ